



バンコク便り



1. はじめに

8月にはタイのシリキット王太后陛下（現国王の母）の誕生月でもあり、タイ全土が誕生日を祝い、多くの建物の前には誕生日の色である水色の飾り付けが施されました。タイではこの日が「母の日」にあたり、王太后陛下を敬うのはもちろんのこと、母親や家族に特別な思いを寄せる日でもあります。

2. 当地ビジネス情報

(タイへの青果物輸入規制について)

タイへの野菜・果物等の青果物流通に関する新たな規制が8月25日から施行されました。タイでは農薬使用を適切に管理している栽培地から野菜・果物を入荷し、衛生的な施設において選別・梱包を管理することや、出荷や製造に関する記録を保持し販売時に製造者などの情報を表示することなどが求められております。

今回の規制は既存事業者（新規事業者は2018年8月より適用開始済）にも適用され、ISO22000（食品安全）やGLOBAL GAP（適正農業規範に関する国際基準）などの規格を取得するか、行政機関発行の衛生証明書を取得する必要がある一方で実際に証明書を発行する日本の自治体が限られているなどの事情もあり、対応済みの事業者が少ないのが現状です。

山形県からも先月号でお伝えしたさくらんぼやリンゴなどの青果物が輸出されていますし、タイでの日本産青果物の輸出は過去6年で3倍増加するなど需要が高まってきております。先日はJETRO主催で日本産青果物に特化した商談会もバンコクで初開催されるなど、タイは目下、当該規制にいち早く対応した事業者にとっては参入チャンスの高い市場となっております。

青果物以外でもタイでの販路拡大・輸出をご希望の方は下記、荘内銀行地方創生部までご連絡ください。

日本からタイへの青果物輸入に係る規制、植物検疫の概要



出典：JETRO ホームページより

3. 現地トピックス

(都市鉄道 (MRT) ブルーラインの延伸について)

7月29日からバンコクの都市鉄道 (MRT) ブルーラインが延伸し試運転が始まりました。今回の延伸により王宮や中華街などがある旧市街とスクンビット地区などがある新市街とのアクセスも便利になり、観光・ビジネスの活発化が期待されます。今までは車で30分～1時間近くかかっていた王宮付近の観光も MRT を利用すればスクンビット地区から20分程（運賃は片道約100円）で最寄り駅まで行くことができ、そこから3大寺院の一つワット・ポーまでは徒歩5分以内で着くなど、名所観光も非常にしやすくなります。

小職も実際に試乗してみました。車両も新しく、そして何よりバンコクの渋滞を気にせず、予定通りの時間で目的地まで行ける便利さに感動しました。

新しく延伸した駅にも特徴があり、中華街最寄駅の構内では壁面に中国らしいペイントを施し中国人観光客が記念撮影をしていたり、王宮付近最寄駅では綺麗な装飾が施され豪華な作りとなっているなど、今までにはない形となっています。

皆さんもバンコクにお越しの際は、ぜひ観光やビジネスに MRT をご利用になられてはいかがでしょうか。



Wat Mangkon 駅構内（中華街付近）の壁面



Sanam Chai 駅構内の装飾（王宮付近）

【本件に関する連絡先】 地方創生部 海外業務 G 石井・高橋・榎 023-626-9050

【作成協力】 カシコン銀行日系金融法人チーム（在バンコク）